

災害に備えましょう



昨年10月の台風19号や今年の7月に九州で発生した豪雨など、近年多発している自然災害はいつ自分の身に降りかかってくるかわかりません。いざというときに災害から自分自身や家族、地域の方を守るため、9月1日の「防災の日」を機に、災害への備えについて見直してみましょう。

災害時は正確な情報を！

災害が発生すると、被災状況や避難行動に関する正確な情報が必要になります。災害時には、インターネットやSNSなどで、正確ではない、いわゆるデマ情報が広がることがあるため、誤った情報に惑わされないよう災害時の正確な情報の入手方法（下の囲みを参照）を確認しましょう。

備蓄品と持ち出し品は？

北海道胆振東部地震のような大規模な災害が発生したときは、電気・ガス・水道といったライフラインがストップしてしまうことがあります。また、家屋の倒壊の恐れなど、身に危険が迫ったときは一刻も早く避難しなければなりません。

万が一の事態に備え、日ごろからご家庭で災害時の対応について話し合うとともに、家庭での備蓄品や避難時の持ち出し品（下の囲みを参照）を確認しておきましょう。

◆お問い合わせは、総務部災害

対策室 ☎ ④ 4 1 1 1 内線 4 4

1、☎ ⑤ 9 9 5 5 へどうぞ。

在宅避難のための備え

電気・ガス・水道などのライフラインが復旧するまで自宅で生き抜くためのものです。最低3日分、できれば1週間分を備蓄しましょう。

- 食料：缶詰、レトルト食品、インスタント食品、離乳食、介護食、粉ミルク、飲料水（1人あたり最低1日1L、理想は1日3L）など
- その他：水用ポリタンク、カセットコンロ、簡易トイレ、電池式ストーブ、照明器具、寝袋、水のいらぬシャンプー、ペット用品など

非常時持ち出し品

避難時や避難生活に必要なものです。緊急時にすぐ持ち出せるよう、リュックサックなどにまとめて準備しておきましょう。

- 食料：携行食、飲料水（1人あたり最低1日1L、理想は1日3L）など
- 避難用具：懐中電灯、携帯ラジオ、ヘルメット、軍手、運動靴、笛など
- 衣類：着替え、タオル、雨具、防寒具など
- 医薬品類：お薬、お薬手帳、ばんそうこうなど
- 感染症対策用品：マスク、アルコール消毒液、体温計など
- 貴重品類：現金、保険証、運転免許証など
- その他：携帯電話・充電器、眼鏡、補聴器、ライター、ティッシュ、生理用品、ビニール袋、家族の写真（はぐれたときに使用）、赤ちゃん用品、ペット用品、その他自分や家族の生活に不可欠なもの



正確な情報の入手方法

テレビ・ラジオ放送

気象情報や災害情報、特に地震・津波情報を最も早く知ることができます。停電に備え、電池式のラジオを用意しましょう。

コミュニティーラジオ「FMおたる(76.3MHz)」

大きな災害が発生したときには、市が直接災害情報や地域に密着した生活関連情報などを放送します。



緊急速報メール

気象庁が配信する緊急地震情報、津波警報や特別警報のほか、市からの災害・避難情報をドコモ・au・ソフトバンクモバイル・楽天モバイルが市内の電波圏内の受信可能な状態の携帯端末に配信します。

登録制メール

登録された方へ緊急性の高い防災に関する情報や気象情報等をメールで配信するサービスです。登録するには、下記のアドレスを入力するか、右の二次元コードを読み取り、空メールを送信してください。



✉ bousai.otaru-city@raidens3.ktaiwork.jp

小樽市防災行政無線

津波からの速やかな避難が必要である沿岸地域に屋外拡声子局こきょくを38箇所設置し、子局の屋外スピーカーから緊急地震速報、津波警報、避難情報などの災害に関する重要な情報を放送します。聞き取りにくい場合は、☎ ④ 1199に電話をかけていただくことで、自動応答装置から放送内容を聞くことができます。屋外拡声子局は、昨年度に蘭島～手宮地域に13箇所設置しており、今年度は、手宮～銭函地域の25箇所に設置する予定です。



Yahoo! 防災速報

スマートフォン用アプリケーションを活用して、災害が発生する恐れがある場合や災害発生時に、避難情報や避難所開設情報などの防災情報を配信するサービスです。設定方法については、市ホームページから、市民の皆さんへ／安心・安全・動物／防災／Yahoo! 防災速報をご覧ください。